

キーボード(コンピュータ)の違いについて

フルキーボード編

2023/10/16 株式会社あいはら 研究開発チーム
山田 泰司 <taiji@aihara.co.jp>



Fujitsu PC OADG 109A キーボード

一般的な PC 向け JIS 配列フルキーボード、PC OADG (The PC Open Architecture Developers' Group) 準拠

- ・ キートップで横棒下は ^Ctrl 押下、本来はキー下側面への刻印
- ・ つまり、“SysRq, ⓄBreak, 漢字, ローマ字” は順に Ctrl + “ⓄPrint Screen, Pause, 半角/全角, カタカナひらがな”
- ・ US 配列とは記号類の位置が異なる。
- ・ 「A」の直左が ⓄCaps Lock、^Ctrl は左下
- ・ 左^Ctrl、左Ⓞ、左⌘Alt、無変換、⌵スペース、変換、かな、右⌘Alt、右Ⓞ、App、右^Ctrl と最下段は「非対称」
- ・ ⓄPrint Screen, ⓈScroll Lock, Pause|ⓄBreak, ⓇInsert, ⓇNum Lock の存在が特徴的
- ・ F1~F12 が 4 キー毎に離れていることが好ましい特徴



Apple USB US 配列キーボード model# A1048

Mac 向け US 配列フルキーボード

- 「`」が「1」の直左
- テンキーの演算子が特殊、IBM PC と Apple 資産、そして、使いやすさへの拘りが見て取れる (例えば \times clear キー)。
- JIS 配列とは記号類の位置が異なる。▲eject キーが邪魔
- 「A」の直左が \cup caps lock、 \wedge control は左下
- 左 \wedge control、左 \backslash option、左 command、 $_$ スペース、右 command、右 \wedge option、右 \wedge control と最下段は「対称」
- \cup Print Screen, \updownarrow Scroll Lock, Pause| \cup Break, \cup Insert, \updownarrow Num Lock が存在しないのが特徴的
- F1~F12 が 4 キー毎に離れていないことが好ましくない特徴、さらに F14~F16 が少し離れて存在



Apple USB JIS 配列キーボード model# A1048

Mac 向け JIS 配列フルキーボード

- 「1」と「return」が巨大。ホームポジションが US 配列より左にずれている！
- テンキーの演算子が特殊、IBM PC と Apple 資産、そして、使いやすさへの拘りが見て取れる (例えば ☒clear キー)。
- US 配列とは記号類の位置が異なる。▲eject キーが邪魔
- 「A」の直左が ^control、☒caps lock は左下
- ☒caps lock、左\option、左⌘、英数、␣スペース、かな、右⌘、右/option、右^control と最下段は「ほぼ対称」
- ☐Print Screen, ⏏Scroll Lock, ⏏Pause|☐Break, ⏏Insert, ⏏Num Lock が存在しないのが特徴的
- F1~F12 が 4 キー毎に離れていないことが好ましくない特徴、さらに F14~F16 が少し離れて存在

テンキーに珍しく「,」カンマが存在する！



Apple Magic US 配列キーボード model# A1048

Mac 向け US 配列フルキーボード

最上段 地球儀fn 押下で制御キー、▲ / F13 F14 F15 / F16 F17 F18 F19 まで

- 「`」が「1」の直左
- テンキーの演算子が特殊、IBM PC と Apple 資産、そして、使いやすさへの拘りが見て取れる (例えば 地球儀clear キー)。
- JIS 配列とは記号類の位置が異なる。▲eject キーが邪魔。help キーの代わりに 地球儀fn
- 「A」の直左が 地球儀caps lock、^control は左下
- 左^control、左\option、左 command、_スペース、右 command、右/option、右^control と最下段は「対称」
- 地球儀Print Screen, 地球儀Scroll Lock, Pause|地球儀Break, 地球儀Insert, 地球儀Num Lock が存在しないのが特徴的
- F1~F12 が 4 キー毎に離れていないことが好ましくない特徴、さらに F14~F16 が少し離れて存在



Apple Magic JIS 配列キーボード model# A1048

Mac 向け JIS 配列フルキーボード

最上段 地球儀fn 押下で制御キー、▲ / F13 F14 F15 / F16 F17 F18 F19 まで

- 「1」と「return」が巨大。ホームポジションが US 配列より左にずれている！
- テンキーの演算子が特殊、IBM PC と Apple 資産、そして、使いやすさへの拘りが見て取れる (例えば ☒clear キー)。
- US 配列とは記号類の位置が異なる。▲eject キーが邪魔。help キーの代わりに 地球儀fn テンキーに珍しく「,」カンマが存在する！
- 「A」の直左が ^control、⇧caps lock は左下
- ⇧caps lock、左⌘option、左⌘、英数、␣スペース、かな、右⌘、右⌘option、右^control と最下段は「ほぼ対称」
- 地球儀Print Screen、⇧Scroll Lock、Pause|地球儀Break、⇧Insert、⇧Num Lock が存在しないのが特徴的
- F1~F12 が 4 キー毎に離れていないことが好ましくない特徴、さらに F14~F16 が少し離れて存在



Sun Type-6 キーボード

Unix 向け US 配列フルキーボード、IBM 101 配列に準拠

- Help, Stop, Props, Front, Open, Find, Again, ⌘Undo, Copy, Paste, Cut キー、スピーカー制御と電源キーが追加
- キー下側面の刻印は ^Control 押下。つまり、“SysRq, Break” は順に Control + “Print Screen, Pause”
- JIS 配列とは記号類の位置が異なる。Lock 系と言える ⌘Compose キーは DEC LK201 VT220 端末が起源
- 「A」の直左が ^Control、⌘Caps Lock は左下
- ⌘Caps Lock、左⌘Alt、左◆、⌘スペース、右◆、⌘Compose、右⌘Alt Graph と最下段は若干「非対称」
- ⌘Print Screen, ⌘Scroll Lock, Pause|⌘Break, ⌘Insert, ⌘Num Lock の存在が特徴的
- F1~F12 が 4 キー毎に離れていることが好ましい特徴、但し、本来の ⌘Esc キーが謎の無刻印！



NEC PC OADG 106 キーボード (Windows キー無し)

一般的な DOS 向け JIS 配列フルキーボード、PC OADG (The PC Open Architecture Developers' Group) 準拠

- キー下側面の刻印は ^Control 押下。
- つまり、“SysRq, ⓄBreak, 漢字, ローマ字” は順に Ctrl + “ⓄPrint Screen, Pause, 半角/全角, カタカナひらがな”
- US 配列とは記号類の位置が異なる。
- 「A」の直左が ⓈCaps Lock、^Ctrl は左下
- 左^Ctrl、左⌘Alt、無変換、⌵スペース、変換、かな、右⌘Alt、右^Ctrl と最下段は若干「非対称」
- ⓄPrint Screen, ⓈScroll Lock, Pause|ⓄBreak, ⓇInsert, ⓈNum Lock の存在が特徴的
- F1~F12 が 4 キー毎に離れていることが好ましい特徴



IBM PC 102 UK キーボード (Windows キー無し)

一般的な DOS 向け UK 配列フルキーボード

- キー下側面の刻印は ^Control 押下。
- つまり、“SysRq, ⓄBreak” は順に Ctrl + “ⓄPrint Screen, Pause”
- US 配列とは記号類の位置が異なる。
- 「A」の直左が ⓄCaps Lock、^Ctrl は左下、左 ↑ シフトが小さく、右に 「\」 キー
- 左 ^Ctrl、左 ⓄAlt、Ⓞスペース、右 ⓄAlt Gr、右 ^Ctrl と最下段は「対称」
- ⓄPrint Screen, ⓄScroll Lock, ⓄPause|ⓄBreak, ⓄInsert, ⓄNum Lock の存在が特徴的
- F1~F12 が 4 キー毎に離れていることが好ましい特徴

記号類のキー配列の違いは、いみじくも文字コードと同様「£」「¥」通貨記号が根源であることがわかる。US, JIS 双方に慣れたとしても、さらに UK に慣れるというのは相当に苦痛。但し、**KR 配列はほぼ US。**

おわりに・参考文献

ここではフルキーボードのキー配列に注目した。驚いたのが 2005 年以前の Mac には NumLock キーが存在していたことである。個人的にはテンキーや電卓様のキー配列は使用しないのでずっと気付いてなかった。

確かに職種によっては、電卓様のキー配列があれば便利であろう。しかし、PC/Unix と Mac ではテンキーの演算子キーの配列が異なっており（「+」キーが PC では 2 倍サイズ、 NumLock キーが PC には存在、 clear と「=」キーが Mac には存在）、難儀である。「=」キーは Return / enter か、Excel なら「+」キーで代用できるとして、 Backspace キーがある「外付けテンキーボード」を検討した方がマシと考えてしまう。そして、Microsoft の下記のフルキーボードには clear キーが存在する。

- [BUFFALO テンキーボード](#)、 Tab → $\text{}$ 、 NumLock キー付き、 Backspace キー付き - USB
- [BUFFALO テンキーボード for Mac](#)、 Tab → $\text{}$ 、 NumLock キー無し、 delete キー付き - USB
- Microsoft Surface Ergonomic キーボード [JIS 配列](#)、[US 配列](#) - テンキー付き、メカニカル方式、Bluetooth
- Apple Magic キーボード [JIS 配列](#)、[US 配列](#) - テンキー付き、シザー構造パンタグラフ方式、Bluetooth

US 配列と JIS 配列の違いについては、個人的にはどちらにも慣れれば良いと思っているので敢えて触れない。結局、昨今のフルキーボードの様相を見てみたら、おそらくノート PC のコンパクトキーボードに慣れているユーザが多いからか、フルキーボード側がコンパクトキーボードの使い勝手に寄せてきていることが伺える。現に、上記の Microsoft と Apple のフルキーボードには、コンパクトキーボードで足りないキーを打鍵するための fn キーがいずれにも備わっている。